

	本校の経営方針及び指導上の重点事項	自 己 評 価				学校関係者評価
		主な成果と課題	H29	H28	改善の方策	
学校経営	(1) 本校が目指す姿を明確にし、校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、協働体制の確立に努める (2) 生徒一人一人の個性や能力を伸張させ、進路希望を実現する教育課程の編成・実施及び21世紀型能力を育成する授業の改善に努める。 (3) 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に活力あふれる教育活動を展開し、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努める。	○学校経営方針や目指す学校像を示し、教職員の共通理解を図り、協働体制の確立及び促進に努めた。 ○単位制の趣旨を生かした学校設定科目の設置や校内規程の見直しなど、教育活動の改善に向け、各分掌を中心に行った。 ○Webページの更新や各種通信の発行、授業公開の実施などを通して、保護者及び地域に対する情報発信に努めた。 ○地域の関係機関と連携した防災安全教育の実施や、1年次によるねんりんピック等の地域行事への積極的な参加等、地域の物的・人的教育資源の活用に努めた。 ○新入学生確保のため、根室高校のポスター及びパンフレットを作成し、オープンスクールや学校訪問、出前授業等を実施した。 ■新学習指導要領の実施や高大接続等、国の動向を踏まえ、学校経営方針や目指す学校像に対する共通理解・共有化をより一層図る。 ■地域に根ざした教育活動の充実と教育課程の編成・実施に努める。 ■日常的で効果的な情報発信に努めるとともに、地域から信頼される学校づくりを目指す。	3.0	3.0	・組織力の向上に向け、教育課題を踏まえた共通理解の促進及び学校の実態に即した分掌の再編等。 ・研究指定事業等の積極的な活用。 ・PTAの学校行事への積極的な参加の促進。 ・地域や関係機関と連携した教育活動の一層の充実 ・情報発信の一層の促進	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・少子化による小中学校の統廃合や保護者の考え方等から、今後も間口減の可能性が十分考えられる。対策を早い段階から考えていつて欲しい。
学習指導	(1) 授業における指導体制を確立し、自ら学習する態度を育成する。 (2) 個に応じた指導の充実を図り、基礎的・基本的な知識技能及びそれらを活用して課題を解決する能力を育成する。 (3) 指導と評価の一体化を図り、教科・科目の目標の達成に向けた授業改善に努める。	○若く経験の浅い教職員が多く、指導体制については十分でない部分もあるが、アクティブ・ラーニングの視点に立ち、生徒の活動を重視した授業改善に積極的に取り組んでいる。また、授業時数の確保など、教育課程は概ね適切に実施されている。 ○単位制の趣旨や学校の特色を生かし、学校設定科目を多く設置するなどし、個に応じた適切な指導に努め、学習能力の定着を図っている。 ○プロジェクトチームを設立し、指導と評価の一体化や教科間連携の在り方等について検討する機会を設けたり、他校で実施された授業実践講座等へ積極的に参加した。 ■カリキュラムマネジメントに積極的に取り組み、授業規律の改善及び定着を含めた授業改善により一層努める必要がある。 ■間口減による教員数減に伴い、単位制の趣旨を生かした教育課程の再編成を進めていく必要がある。 ■研究指定事業の活用を図りながら、学習指導の改善に向けた取組を推進する必要がある。	3.1	3.1	・教科担任会議や学年会での教科指導に関する課題の共有化と授業規律に関する指導の共通理解及び共通実践の確認 ・授業改善に関する校内研修の充実 ・教員定数を見込んだ教育課程の適切な再編成 ・家庭学習を促進する組織的な取組の実施	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・市内の高校が1校になり、様々な生徒が入学してくる。子どもと保護者の状況を的確に把握し、適切な指導をして欲しい。
生徒指導	(1) 家庭・地域との連携を密にし、基本的な生活習慣の（挨拶・身嗜み等）の確立を図るとともに、自己指導力の育成に努める。 (2) 教育相談の充実を図り、生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応に努める。 (3) 自主的・自発的な活動の充実を図り、集団への帰属意識を高め、自ら考え行動できる力を育成する。	○多くの生徒がホームルーム等での日常的な指導や、家庭での指導のもと、基本的な生活習慣が確立され落ち着いた学校生活を送っている。 ○生徒指導に関する日常的な注意喚起のほか、生活全般に係る保護者宛文書を配布するなどし、家庭と連携を図りながら事故防止に努めた。 ○人権教育研究推進事業等を通じて、コミュニケーション能力の必要性や自分を律することと他者との信頼関係の構築、自他の命の尊さ等について学び、人間としての在り方生き方の自覚を深めることができた。 ○サポート委員会を定期的に開催し、該当生徒に配慮しながら情報の共有化を図り、特別な支援を必要とする生徒に対し、手厚い指導を行っている。 ○「いじめ」に関する調査及びネットパトロールの定期的な実施など、「いじめ」「ネットトラブル」等の未然防止に努めた。 ○生徒会行事の充実を図り、活発な生徒会活動や部活動等を通して、生徒の自主的・自発的な活動を推進している。 ■家庭との連携をより一層強化し、基本的な生活習慣の確立や規範意識の育成に向けた指導の充実に努める必要がある。 ■「いじめ」や「ネットトラブル」等、事故防止に向けた指導の充実を図る必要がある。 ■「通級」指導を意識しながら、特別な支援を必要とする生徒等、多様な生徒に対応した指導体制を整備する必要がある。	3.0	2.9	・基本的な生活習慣の確立を目指し、教職員と家庭との共通理解を促進 ・新しいいじめ防止基本方針に基づいた指導の徹底 ・スクールカウンセラーの活用等を含めた、組織的な教育相談体制の整備 ・「通級」指導に関する研修の実施 ・自主的・自律的な生徒会活動及び部活動等の一層の充実	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・ネットトラブルの未然防止に努めるとともに、今後も「いのちの授業」を継続し、教育相談体制を充実させて欲しい。
進路指導	(1) キャリア教育を基盤とした組織的な進路指導の充実に努める。 (2) 校内及び家庭との連携を密にし、個々の進路目標に応じた適切な支援に努める。 (3) 適切で迅速な情報の収集と提供に努め、生徒が自ら考える進路学習の充実に努める。	○進路指導部を中心にキャリア教育推進委員会を設け、将来の人生設計を踏まえた、計画的なキャリア教育の推進に努め、進路指導の充実を図った。また、きめ細かな科目選択指導により、個々の進路について、より一層意識させるように努めた。 ○進路だよりの配布や学年懇談会及び三者面談等を通じて、家庭への情報提供に努めるとともに、総合的な学習の時間における指導等とおして、個々の進路目標に応じた適切な指導を行った。 ■キャリア教育のより一層の充実に向け、全体計画の改善を随時図り、具体的な取組を推進する必要がある。 ■市内インターンシップの受入協力企業の拡充。	3.2	3.1	・3年間をとおした計画的・継続的なキャリア教育の取組の推進 ・科目選択ガイダンスの充実と改善 ・高大接続等の新しい受験システムの理解のための研修及び実践 ・各教科における模試結果の詳細な分析と活用及び受験体制の確立	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・地元で唯一の高校として、企業や社会に寄り添う学校であって欲しい。 ・就職希望者が少ないが、地元就職する気構えを指導して欲しい。 ・学校は保護者と連携しながら、企業と話し合う機会を設け、地域密着型の指導をして欲しい。 ・市との様々な面での連携も必要である。
健康・安全指導	(1) 健康・体力の重要性を理解させ、自ら運動に親しみ、積極的に体力を高める態度を育成する。 (2) 教科や特別活動など学校教育活動全体を通じて、自らの健康を適切に管理し、増進する実践力を育成する。 (3) 安全・防災教育の充実を図り、自尊感情や緊急時の対応力を高める。	○保健体育の授業及び各学年での保健指導や部活動等の教育活動を通じて、生徒自らが健康や体力の向上を積極的に意識できるような指導の充実に努めた。 ○市や警察、消防、保健所等の関係機関と連携し、特色ある防災教育に取り組むなど、健康安全指導を適切に実施することに努めた。 ■登下校時における交通マナーの向上及び交通安全指導の充実を図る必要がある。 ■運動部活動の加入促進や地域行事への積極的な参加等、運動に親しみ体力の向上を図る指導を充実させる必要がある。	3.2	3.3	・学校保健及び安全計画の周知徹底 ・交通安全意識を高める効果的な指導の工夫 ・生徒及び保護者への適切な情報提供と地域との連携及び交流活動の充実	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・オリンピック選手の輩出を目指して欲しい。 ・根室半島沖の地震が心配されており、防災会議は今後も継続して欲しい。

※自己評価における数値は、各項目を「4・・・十分達成できている。3・・・達成できている。2・・・やや不十分である。1・・・不十分である。」で全教職員が自己評価した平均値